

2014年3月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
不活化ワクチン B型肝炎	任意	□□□	①→②	③												
生ワクチン ロタウイルス	任意	1価 □□ 5価 □□□	1→2→③													
不活化ワクチン ヒブ	定期	□□□□	①→②→③	④												
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 (13価)	定期	□□□□	①→②→③	④												
不活化ワクチン 四種混合(DPT-IPV) 三種混合(DPT)・ポリオ(IPV単独)	定期	□□□□	①→②→③	④												
生ワクチン BCG	定期	□	①													
生ワクチン MR (麻しん風しん混合)	定期	□□	①													
生ワクチン おたふくかぜ	任意	□□	①													
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう)	任意	□□	①	②												
不活化ワクチン 日本脳炎	定期	□□□□														
不活化ワクチン インフルエンザ	任意	毎秋														
不活化ワクチン A型肝炎	任意	□□□														
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス)	定期	□□□														

不活化ワクチン **定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

定期予防接種の対象年齢  おすすめの接種時期(数字は接種回数)

生ワクチン 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。
任意 任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

任意接種の接種できる年齢

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/>

檢 索